

～男女共同参画社会に向けて～

Demain



もくじ

セカンドライフはいきいきライフ.....	②③
今を知るレポート	
DJ TOM G流の生き方.....	④
大分市女性消防士ことはじめ.....	⑤
男女共生講演会	
講師 大宅映子さん.....	⑥
事業紹介.....	⑦

～支え合い 男女で織りなす 豊かな社会～
大分市男女共同参画推進室

セカンドライフは いまいまライフ

～一人の人間として幸せに過ごすために～

世間では「2007年問題」が話題になっていますが、戦後の日本の高度成長期を担い多くの人が会社にエネルギーを注いできた団塊世代の60歳定年退職が今年から始まっています。

2006年の日本人の平均寿命は男性が79歳、女性が85.8歳ですから60歳で退職したとすると、その後の人生がまだ20年から25年ほどあります。生まれてから成人するまでと同じ年月をもう一度自由な時間の中で過ごせるのです。

そこで一足先にセカンドライフを愉しんでいらっしゃる佐藤雅秀さん、渡辺隆司さん、瀧野光三さんに、その様子をお話いただきました。

大分市の団塊世代（57～59歳）の人口：25,667人（2007年3月末現在）



佐藤

が、「おおいた団塊クラブ」に入ってそこからのつながりが広がってきています。自分の思いで安定したサラリーマンを辞めたこともあり家での僕の立場がかなり下がりました。（笑）

退職後、どんな生活を送っていますか？

佐藤

新聞記者として長年新聞社に勤めてきました。新聞社を退職してから農業とフリーライターをしています。新聞記者時代は、仕事が非常に忙しくて、一週間先の休みの日程さえもままならない程でした。そんな忙しい生活を続けていた中で、自分のやりたいことをしたいという思いが沸いてきたのです。そのやりたいことが農業でした。現在週の3日は農協のお手伝い、2日は団塊世代のコーデイネーター、後は久住と杵築で出張農業といった生活をしています。ガソリン代が高くつくんですけどね。（笑）



佐藤 雅秀さん

瀧野

私は、建設業界ゼネコンに勤務していましたが2年前に退職し、現在は独立起業して会社時代の専門知識を活かしたコンサルティング業務をしています。また、職人の技術の伝承や活躍の場を作るために人材バンク活動にも携わっています。退職後は会社という枠をはずれて自由になり、いろんなところに出て行っています。

渡辺

定年の年齢より2年早い58歳で地元民放を去年8月、早期退職しました。4ヶ月家庭菜園をしながらやりたいことを考えていましたが、自分が知りたかったことがいっぱいあるのに1年前は情報があまりなかったんです。そういうことから今は、家庭菜園と団塊世代情報サイト運営というインターネットを利用したホームビジネスをして毎日を過ごしています。

渡辺

家族との関わり方は
変わりましたか？
また地域と
関わっていますか？

今は自宅のリビングで仕事をしていますので、毎日家族と食事をとれるようになりましたし、以前は話さなかった仕事のこと

退職を控えている世代への
アドバイスはありますか？

佐藤

退職前に人間ドッグを受け、悪いところを治療しておき、できるだけ健康でいること、退職後の生活費がいくら必要か試算しておくというと思います。私の場合、退職後は退職前に比べて、およそ半分以下の生活費で暮らしていることに気づきました。健康で生活費が少なく済むことができれば、セカンドライフを不安なく設計できます。

渡辺

先日、僕は健康・環境・節約という3つの「K」をスローガンに自転車で筋湯温泉に行きました。元氣だからいろいろできる

チャレンジしたいことが
ありますか？

佐藤

たくさんチャレンジしたいことがあります。まず、小説を書いて文学新人賞を狙ってみたいですね。それから、大分の農村を歩き活きとさせるような研究活動をしたい。それに政治にも参画してみたいし、新しい大分ブランド農産物を作りたい。まだまだ自分のセカンドライフを充実させた生活を過ごしたいですね。

瀧野

家族とコミュニケーションを取りながら、今、経営している会社を「あそこは光っている」といわれる技術屋集団のある会社にしていくつもりです。「あそこ」に頼みたい」とみんなから認められる会社にね。



渡辺 隆司さん

瀧野

家族に話をするようになりました。それといろんな人との付き合いが広がったことや上下でなく横の付き合いになったことで、女性の気持ち、女房の気持ちとかに配慮するようになりました。それから自治会活動に誘われるようになりました。地域の寄り合いに行ってみると僕らの世代はまだまだ少ないようです。



瀧野 光三さん

渡辺

今運営しているWebサイトを大きく変革させたいという夢があります。リタイアしたプロフェッショナルな人とともに話題豊富な面白いサイトにしたいですね。

常に時代をリードしてきた団塊世代の人たちが心身ともに豊かなセカンドライフを実践しています。組織の中の自分ではなく、一人の人間として幸せに過ごせるかどうかのポイントのようですね。

◆大分市では老若男女みんなが生き生きと生きることが出来る男女共同参画社会の実現を目指しています◆



無理せず、肩の力を抜いて

DJ TOM G流の生き方



大分ライフ5年目。人気DJとして多忙な生活を送りながら、家事・育児にも楽しく関わっているTOM Gさん。留学、そして幼少から続ける身体表現、地域活動への参加など、多彩な経験の中から培われたものはなんだったのでしょうか。

男女共同参画について

男女共同参画と書くと、カクカクして、まさに肩肘張っているイメージが……。笑。語弊があるかも知れませんが、元々男女は違うと思うので、お互いが得意なところを活かしつつ、苦手なところは補完すればいいと思います。「これ、しらんけん手伝ってくれん？」と声を掛け合えばうまくいくんじゃないかなあ。もちろんセクハラやDVなど、今までの考えを改めないといけない問題もありますね。

ライフワークを持つ

宮沢賢治の童話を身体表現する活動が続いています。小学校三年の頃からですから、もう二十五年以上になります。



す。親から勧められて始めたのですが、今は自分の子どもたちも一緒にしています。塾とも学校とも違う空間で、木になったり風になったりして表現することで色んなことが発散できます。賢治の世界で学び、遊ぶことで色んなものが培われてきたと思っています。

違う価値観に触れる

食事の態度が悪い時や、挨拶が出来ない時などには、子どもたちを怒ったりもしますよ！育ちは博多ですから、いわゆる九州男児と言われる厳しい祖父や父のもとで育っているのです。ベースはそこにあると思っています。ただ、アメリカに一度出ているので、そこちよつと違う風が吹いている感じかな。歴史・伝統も大切ですが、違う価値観を知ると、もつとりラックスして子育てもできるんじゃないかなあ。僕は留学中のホストファミリーから家族のスキップや温かさとかを感じましたね。

無理のない範囲で

子育てという観点では大分は恵まれていますよね。環境的にすごく良いです。子どもを連れて温泉にも行きますし、うみたまこ、七瀬川、高崎山……その他にも行きたい所はいっぱいあります。

奥さんは専業主婦です。実家の両親が作っている野菜を使った料理が得意です。僕は仕事柄、比較的時間を自由に使えるほうなので、空いている時間は家事もしますし、子どもを幼稚園に送迎したりもします。特別なことはなく、無理のない範囲で、お互いがしたいこと、出来ることをやっているだけなんです。



やりがいのある仕事です！

大分市女性消防士とはじめ



山口 裕子さん



森 まどかさん



釘宮 里佳さん

プロフィール

釘宮 里佳 大分中央消防署予防係
(平成16年4月採用)

森 まどか 大分中央消防署救急救助係
(平成16年4月採用)

山口 裕子 大分南消防署救急救助係
(平成17年4月採用)

職業「消防士」という選択肢

山口

あの阪神淡路大震災の時、私は小学生でした。当時、大阪市内に住んでいましたので、救助活動をしている人たちを見て、自分も何かできないかなあと思いました。中学校の時に救命講習を受けたんですが、そこに女性の方が来て、女性でも救命救急の仕事ができることを知ったんです。

釘宮

人を守る仕事に就きたかったです。就職活動をする中で、大分市が女性の消防職員を採

森

私は「災害時に役立つ戦力、社会貢献ができる救急救命士」と書かれたパンフレットに惹かれて救急隊になる為の学校に行きました。卒業時に大分の消防士の採用が丁度あったので、試験を受けました。

消防士の仕事

釘宮

以前は救急隊にいたのですが、現在は予防係にいます。広報活動や建物の立ち入り検査、設備の維持管理調査などの仕事をしています。

森

いざ火災が起こった時に消防隊が使うポンプが使えなかったら大変ですから、予防係の仕事は大事なんです。

釘宮

一般の方の消防に対するイメージは「救急活動をして、火を消しに行く」というものだと思う

釘宮

トイレ・更衣室・仮眠室

大分市内の消防の各建物によって、整備されているところと整備されていないところがあります。元々男性しかいなかった職場ですので、女性が泊まる施設や女性用トイレが徐々に整備されている状態です。

森

入ってすぐの時は、新しい布団を買って頂いたり、至れり尽くせりに対応して頂きました。「男の人が寝ちよった布団にそのまま寝せるのはかわいそうや」って。先輩方も初めての女性消防士を迎えるに当たって、気を遣われたようで、感謝しています。

山口

男の職場

私が入った年は女性が一人だけでした。体力の差があつて、消防学校の授業についていけないこともありました。その時はきつかったです。授業の内容は、男性も女性も同じですから。体調が少しぐらい悪くても心配

女性消防士の認知度

森

電話で対応している時、「女じゃなくて上司に代われ」と言われたことがあります。

釘宮

私の場合は、名前を強引に男の名前（サトヨシ）として読まれて電話がかかってきたことがあります。消防署には男性しかいないという固定観念を持たれているんじゃないでしょうか。

山口

女だと言うことで、きつい言い方をされる場合がたまにありますね。どうしても納得して頂けない場合は、男性消防士に代わることもあります。できるだけご理解いただけるよう、丁寧な対応に心がけています。

News

7月20日に開催された九州地区消防技術指導会の演者搬送種目に森まどかさんが男性消防士とペアで出場し、みごと入賞し、全国大会に出場しました。

大分市の女性消防士として、新しい歴史を刻み始めた若い三人。先駆者として、様々な場面でも風穴を開けていく立場ながら、気負い無く自然体で職務を全うされています。とはいえ、「後輩より先輩が欲しいです」と茶目つ気たつぷりに答える姿に、その苦勞の端をほんの少しだけ垣間見たような気がしました。人助けをしたい、何か役に立ちたいという気持ちを持って社会人になった仲間同士、その絆の強さは特別なものを感じられました。

男女共生社会に向けて ~愉しく欲張って生きる~

大宅映子さん講演会

市では男女共同参画週間の
記念事業として、6月30日に
評論家の大宅映子先生をお迎えし
講演会を開催しました。



最近私はこの世の中をみていると「常識」というものが、非常に失われていると思えてなりません。親殺し、子殺しに始まって政治家の不祥事、自殺者の増加など例を挙げればきりがありません。普通の「常識」から考えると、とても理解できるものではありません。教育のあり方も問われるところです。この現状を打開するには、一人ひとりが真剣に、「人」として一回しかない人生を愉しく生きていくために、何が最も大切なことなのかをよく考えなければなりません。それにはまず優先順位をよく考え、自己責任で自分の行動を決定し生きていくことだと思います。

また、次に気になることは仕事と生活のバランスがこわれていることです。家族とのコミュニケーションも少なく、多くの男性は家族とあまり生活していないのではないのでしょうか。残業の連続、休日も仕事で、ゆつくり休息する時間もなく、ひいては過労死を引き起こすという現実もあります。もうそろそろ男性の働き方を変える必要があると思います。

役割であり、とても素晴らしい仕事です。よく考えていただきたいと思います。それから結果を同じにしないと差別であると思っている人がいますが、それは差別ではなく単なる違いなのです。どっちが上等とかいう問題ではないのです。みんな違ってみんな良いのです。チャンスや権利が平等であることが大事であり、競争すれば結果に差が出ることは当たり前のことです。がんばって生きている人がほめられない社会は元気が出ないのです。元気のある社会にするためにはみなさん一人ひとりが人に左右されることなく、自分で判断していくことを身につけることがとても大切です。

愉しく生きるための10か条

- 一、みんな一緒にやめて一人ひとりの物さしをもつこと。
- 二、相対的から絶対的な物さしへ（人と比較するのではなく、その人自身を認めることが大事）
- 三、安全第一主義をやめること（失敗から学ぶことも大切）
- 四、完璧主義をやめて80点でOKとすること（いいところを評価し80点で良しとする）
- 五、減点主義から加点主義にすること（100点から引くのではなく60点に足す感覚を持つ）
- 六、一律からメリハリに変えること

- （一律は砂漠に水みたいなので重点的に物事を考えることも大切）
- 七、所有から利用運用へ（日本人は何でも所有するのが好きで貯金はするが運用も必要）
- 八、平均主義から異能主義に変えること。（人と違う能力、得意なことを伸ばす）
- 九、数字からフィードバックへ（数字は説得力があるが、楽しいきれいなといった感覚的なことも大事）
- 十、予防から基礎体力をつけること（過保護、過干渉すぎると自立した人間にならない）

このようなことを頭においてリスクと思いつつも前に足を出していかないと、自分に幸せは訪れません。幸せは誰かが与えてくれるものではありません。自分でつかむものです。みんなが各々の違いを認め合いながら一緒に生きていくと、この国はもっと輝いて楽しい社会になっていくと思います。もつといろいろなことに挑戦して一回しかない人生を大いに愉しんで生きていきましょう。



19年度男女共同参画推進室の主な事業

男女共生講座…セクハラ防止・男性の家庭参画など男女共生に関する講座を公民館や事業所等で開催しています。

今年度新たに行っている講座を紹介します！



ヘルシーライフサポート講座



～健康で幸せな暮らし方を学ぶ～

- 講師：竹内 小代美さん
(たけうちクリニック医師)
- 場所：コンパルホール
- 日程：7～9月(6回)



ストレスの多い現代社会では、①自己の心身を良好な状態にする方法を知ること ②考え方や感じ方が違う一人ひとりが、お互いを認め合うコミュニケーションができる方法を身に付けることが、健康で幸せに暮らすのに役に立ちます。ストレスの専門家で、NLP心理療法のトレーナーでもある竹内小代美 докторが、講義ではなく、ワークショップ形式の楽しい体験型講座を開催しました。毎回、考え方・感じ方・体の状態について、参加者一人ひとりに発見や気づきが起こります。あっという間に時間がたつと、会場は盛り上がりました。

男女共同参画週間 啓発キャンペーン

6月23日～29日の男女共同参画週間にあわせてコンパルホール周辺で団体活動者ら20名によるキャンペーンを実施しました。



DV防止事業



DV被害者支援事業

- …DV相談や被害者支援のための研修講座開催
- デートDV防止講演会
- …県との共催により市内の高校で実施

国内派遣事業

日本女性会議 2007 ひろしま
(10月19日～20日)に男女共同参画関係団体から参加していただきます。



GROUP
グループ
さん紹介

大分舞華軍団

Data
連絡先／090-9560-3734
代表／望月

2000年6月「札幌よさこいソーラン祭り」を見て感動し、大分にも伝え広めたいという熱い思いに駆られ県内初女性だけのよさこいソーランチームを結成しました。2004年6月に札幌よさこいソーラン祭りに初出場し2か所で会場賞をいただきました。昨年6月にも2回目の出場を果たし、熱い感動とパワーを味わって来ました。2005年9月には「ichikoグランシアタで結成5周年のイベントを2000人のお客様を集めて大成功に終わらせる事ができました。メンバーは年齢も職業もさまざま「女性が元氣な家庭が職場が社会が明るくなる」をモットーに地域のイベントやお祭り、ボランティアなどにも積極的に参加しています。2004年1月には40歳以上対象の「おかみさん倶楽部」も誕生しました。「人生これから女もこれから粹に生きようおかみさん」と元氣に活躍中です。練習日には誰でも見学できるので一度見に来て一緒に踊ってみて下さい。

お知らせ

～職場に働く人が性別により差別されことなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分発揮することができる雇用環境の整備のために～

4月1日より施行

「男女雇用機会均等法」が改正されました。

改正の主なポイント

1. 性別による差別禁止の範囲の拡大

- 男性に対する差別も禁止
- 労働者の募集・採用にあたり、身長、体重、体力を要件とすることなどを間接差別として禁止

2. 妊娠・出産などを理由とする解雇その他不利益取扱いの禁止

3. セクシュアルハラスメント対策

- 男性に対するセクシュアルハラスメントも対象とした対策を義務化

詳しくは、厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/index.html> へ

編集後記

大分市男性職員で育児休業取得第1号となったSさん。「育児は大変だけど楽しい!」ということで次号の記事にしたいと思います。お楽しみに。

編集 田辺 薫 首藤 京子 井上 順子
男女共同参画推進室
TEL 537-5724 FAX 536-4044
メールアドレス danjokyodo@city.oita.oita.jp

募集

男女共同参画情報誌
「ドゥマーン」の
ボランティア編集委員を
募集しています。

- 募集人員……若干名
- 内 容……編集会議、取材、編集等 年2回発行する「ドゥマーン」の紙面づくり
- 応募方法……男女共同参画に関する考え、応募動機を400字以内にまとめ住所、氏名、年令、職業、電話番号を明記の上応募ください。
- 応 募 先……〒870-8504 大分市男女共同参画推進室